

試験報告会に出席した生徒約40人と上伊那電気工事協力会の関係者ら



第二種電気工事士 35人が合格

駒ヶ根工業高校（駒ヶ根市）は18日、国家資格「第二種電気工事士」の試験報告会を開いた。試験前の技能講習会で生徒を指導した、上伊那地方の電気工事業者でつくる上伊那電気工事協力会（中島和彦地区会長）の関係者を招待。同校からは受験者41人中35人が合格しており、指導への感謝の気持ちを伝えた。

技能講習会は昨年度から始まった特別講座。技能試験の前に行われる筆記試験の合格者が以前に比べて増加し、同校の教職員だけで

電気工事協力会の 指導に感謝伝える

駒工で試験報告会

は充実した支援ができないため、同会がボランティアとして生徒を指導してきた。

同校電気科2年生の井口響介さんは「協力会の講師が分かりやすく教えてくれたので、理解が深まったと思う。どの仕事に就くかはまだ分からないが、資格を将来に生かしたい」と抱負。中島地区会長は「難しい問題が出題されたにもかかわらず、高い合格率を記録したのは素晴らしいこと。おめでとうございませう」と祝福した。